



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社中西製作所

上場取引所 東

コード番号 5941 URL <https://www.nakanishi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 一真

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 吉川 日出行

TEL 03-5541-6333

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,285	17.3	601	50.5	662	38.4	399	14.9
2023年3月期第2四半期	13,880	△3.7	399	△38.9	479	△34.1	347	△25.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	63.33	—
2023年3月期第2四半期	55.12	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,476	17,887	67.6
2023年3月期	26,133	17,626	67.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 17,887百万円 2023年3月期 17,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	6.0	975	△9.1	1,050	△12.0	680	△15.3	107.90

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,306,000株	2023年3月期	6,306,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	10,057株	2023年3月期	3,629株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	6,299,985株	2023年3月期2Q	6,302,404株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ引き下げられたことによる消費活動の活発化や、海外からの旅行者の増加によりインバウンド需要が急回復していることなどを受け、景気の回復傾向が見られました。その一方で、為替市場の円安や物価上昇圧力は弱まらず、景気の先行きについては見通しにくい状況となっております。

このような状況下、当社は、コロナ禍から復調に進む経済環境の中で、人手不足感により自動化のニーズが高まっている社会状況もふまえ、ロボットとの組み合わせを考慮したことにより人手に頼らない効率的な大量調理や洗浄が可能なシステムの開発、また総合厨房機器メーカーとして、食中毒や異物混入問題といった以前から注目されている「食の安全・安心」の課題克服にも引き続き注力し、様々な顧客ニーズに対応した厨房機器・厨房システムの提案を心がけ、営業部門、生産部門及び管理部門の各部門が一体となって業績の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は162億85百万円（前年同期比17.3%増）となりました。利益につきましては、売上高総利益率が原価高の販売価格への転嫁に苦戦して前年同期より1.0ポイント低下、また、社員給与のベースアップや旅費交通費の増加等により販売費及び一般管理費が増加するも、売上高増の影響が大きく、営業利益は6億1百万円（前年同期比50.5%増）、経常利益は6億62百万円（前年同期比38.4%増）、四半期純利益は3億99百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

なお、当社は、業務用厨房機器製造販売事業の主要販売先である学校給食関連の納期が夏季及び年度末に集中しているため、売上高が第1、第3四半期会計期間に比べて第2、第4四半期会計期間、特に3月に多くなる傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①業務用厨房機器製造販売事業

業務用厨房機器製造販売事業につきましては、売上高は162億37百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は5億77百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、売上高は47百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益は23百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ3億42百万円増加し、264億76百万円となりました。これは主に、現金及び預金が24億20百万円、仕掛品が7億4百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が25億81百万円、商品及び製品が1億99百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ81百万円増加し、85億88百万円となりました。これは主に、電子記録債務が5億99百万円、未払法人税等が1億17百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が10億76百万円、長期未払金が78百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ2億61百万円増加し、178億87百万円となりました。これは主に、剰余金の配当が2億1百万円あったものの、四半期純利益を3億99百万円計上し、その他有価証券評価差額金が72百万円増加したことなどによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて24億20百万円増加し、当第2四半期会計期間末には46億17百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は28億92百万円（前年同四半期は使用した資金3億26百万円）となりました。これは主に、売上債権が29億52百万円、仕入債務が4億30百万円減少したものの、棚卸資産が6億61百万円増加したことなどによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億41百万円（前年同四半期は使用した資金1億9百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億96百万円、無形固定資産の取得による支出が25百万円、投資有価証券の取得による支出が18百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億30百万円(前年同四半期は使用した資金5億5百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が2億3百万円、自己株式の取得による支出が21百万円あったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想や配当予想につきましては、現時点において、2023年5月12日の決算発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,197,200	4,617,880
受取手形及び売掛金	8,503,114	5,921,994
商品及び製品	2,187,754	1,988,748
仕掛品	760,324	1,465,281
原材料及び貯蔵品	825,416	980,576
その他	407,642	267,082
貸倒引当金	△12,754	△8,882
流動資産合計	14,868,699	15,232,680
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,545,258	3,536,463
土地	4,054,948	4,054,948
その他（純額）	645,386	644,176
有形固定資産合計	8,245,592	8,235,587
無形固定資産		
	639,087	563,904
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257,747	1,379,880
前払年金費用	268,011	265,101
繰延税金資産	355,305	306,081
その他	539,075	518,177
貸倒引当金	△39,933	△24,834
投資その他の資産合計	2,380,207	2,444,407
固定資産合計	11,264,888	11,243,899
資産合計	26,133,587	26,476,580
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,665,777	2,588,829
電子記録債務	1,390,128	1,989,225
短期借入金	700,000	700,000
未払費用	409,940	412,718
未払法人税等	164,467	281,788
賞与引当金	347,785	368,593
その他	474,402	954,779
流動負債合計	7,152,500	7,295,933
固定負債		
長期未払金	220,016	141,455
退職給付引当金	702,631	713,821
再評価に係る繰延税金負債	298,917	298,917
その他	132,918	138,493
固定負債合計	1,354,483	1,292,687
負債合計	8,506,984	8,588,621

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,445,600	1,445,600
資本剰余金	1,537,125	1,539,883
利益剰余金	14,958,360	15,155,687
自己株式	△2,804	△16,145
株主資本合計	17,938,281	18,125,025
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	595,569	667,901
繰延ヘッジ損益	367	2,647
土地再評価差額金	△907,615	△907,615
評価・換算差額等合計	△311,678	△237,066
純資産合計	17,626,603	17,887,958
負債純資産合計	26,133,587	26,476,580

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	13,880,947	16,285,566
売上原価	10,496,226	12,480,550
売上総利益	3,384,720	3,805,016
販売費及び一般管理費	2,985,445	3,203,977
営業利益	399,275	601,038
営業外収益		
受取配当金	12,440	15,625
仕入割引	26,924	32,753
補助金収入	1,339	—
スクラップ売却益	11,511	10,791
その他	32,282	7,493
営業外収益合計	84,498	66,663
営業外費用		
支払利息	3,168	1,781
株主優待費用	—	1,673
その他	1,551	1,280
営業外費用合計	4,719	4,735
経常利益	479,054	662,966
特別利益		
固定資産売却益	—	79
退職給付制度改定益	82,047	—
特別利益合計	82,047	79
特別損失		
固定資産除却損	559	644
特別損失合計	559	644
税引前四半期純利益	560,541	662,402
法人税、住民税及び事業税	186,058	246,914
法人税等調整額	27,085	16,485
法人税等合計	213,143	263,400
四半期純利益	347,398	399,002

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	560,541	662,402
減価償却費	250,390	270,211
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14,925	△18,970
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,324	20,808
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△128,075	△143,776
前払年金費用の増減額(△は増加)	△7,116	2,910
受取利息及び受取配当金	△12,443	△16,047
支払利息	3,168	1,781
固定資産売却損益(△は益)	—	△79
固定資産除却損	559	644
売上債権の増減額(△は増加)	1,681,182	2,952,811
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,127,711	△661,110
仕入債務の増減額(△は減少)	△833,221	△430,213
その他	△326,230	369,301
小計	98,294	3,010,672
利息及び配当金の受取額	12,443	16,277
利息の支払額	△3,345	△1,781
法人税等の支払額	△433,648	△132,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	△326,255	2,892,497
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	—	80
有形固定資産の取得による支出	△26,667	△196,320
無形固定資産の取得による支出	△52,707	△25,476
投資有価証券の取得による支出	△22,176	△18,064
長期貸付金の回収による収入	—	2,139
その他の支出	△11,347	△4,880
その他の収入	2,911	1,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109,987	△241,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△250,000	—
リース債務の返済による支出	△5,086	△5,716
配当金の支払額	△250,669	△203,076
自己株式の取得による支出	—	△21,050
その他	—	△504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△505,755	△230,347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△941,998	2,420,679
現金及び現金同等物の期首残高	4,722,658	2,197,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,780,660	4,617,880

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式12,600株の取得を行いました。

また、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月28日付で取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式6,172株の処分しており、処分差額を資本剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が13,341千円、資本剰余金が2,758千円増加し、自己株式が16,145千円、資本剰余金が1,539,883千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。